

外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 事業成果報告書

1. 事業の具体的内容について

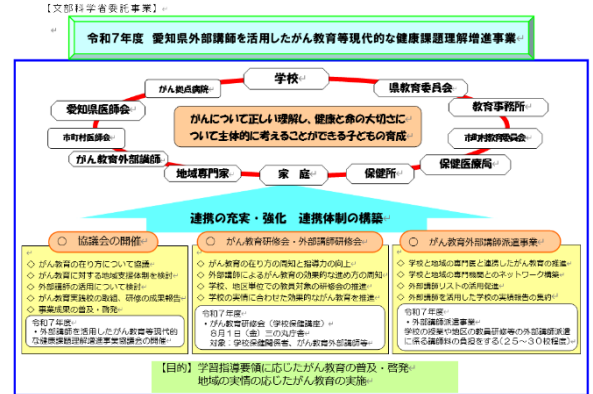
(1) 自治体における取組

① 協議会について

1. 構成員

協議会委員 15人
(内訳)

県医師会1名、がん拠点病院医師2名(緩和ケア・疫学研究)、がん患者会1名、県保健医療局1名、大学准教授1名、中学校校長1名、高等学校校長1名、中学校養護教諭1名、高等学校養護教諭1名、小中学校PTA代表1名、高等学校PTA代表1名、県教育委員会3名



2. 開催時期、検討内容

第1回協議会 令和7年7月11日(金)	第2回協議会 令和8年2月4日(水)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及びその内容等の説明 ・県のがん教育の取組状況等の説明 ・がん教育の推進に向けての意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告 ・成果と課題

② 教育委員会としての取組

ア がん教育研修会 ※学校保健講座と兼ねた(3年間(R6~8年度)同内容の研修会を実施する)
がん教育を推進する背景を知り、各学校におけるがん教育の具体例の作成や参加者同士のディスカッションを通じて、がん教育の可能性を広げることを目指し、教職員やがん教育外部講師を対象とした研修会を行った。

- 《日時》 令和7年8月1日(金)
- 《場所》 愛知県三の丸庁舎(8階大会議室)
- 《講演》 「学校におけるがん教育 ～外部講師を活用したがん教育の実施に向けて～」
- 《講師》 中京大学スポーツ科学部スポーツ教育学科 准教授 後藤 晃伸 氏
- 《参加者》 小・中・高等学校教諭または養護教諭79名、がん教育外部講師8名

イ がん教育等外部講師派遣事業

- ・学校や地域の実情に応じたがん教育の推進を図るため、学校での授業や講演、地域の教員研修等に申込みのあった学校(地区)にがん教育外部講師を派遣した。
- ・保健医療局の協力により作成した「外部講師リスト」を県内の公立学校に周知し、活用により、地域の専門医と学校間のネットワークの構築を目指した。
- 《派遣事業期間》 : 令和7年9月26日~令和8年1月20日まで
- 《派遣先》 : 27学校(小学校21校、中学校3校、高等学校3校)
1地区(教職員対象研修会)

ウ 研修や教材の周知、事業成果の普及・啓発

- ・文部科学省主催の研修会や教材の周知、及び学校保健関係者等の研修の機会に前年度の事業の様子や県教育委員会のウェブページに掲載していることを周知し、外部講師の活用促進を図った。また、文部科学省や県教育委員会等がウェブ上に公開しているがん教育の教材活用を促すために、二次元コード化し、一覧表にまとめ提供した。
- ・効果的な指導には事前の打ち合わせや学校におけるがん教育についての外部講師の理解が欠かせない。そのため、学校が主体となった打ち合わせがスムーズに行えるよう、県教育委員会が作成した事前打ち合わせシートや外部講師向けの配信動画を周知した。

③ 保健部局や地域の専門機関等との連携

- ・毎年、県保健医療局から、がん診療拠点病院などに所属する医療従事者のうち、がん教育にご協力いただける医療関係者(160名)やがん経験者等(27名)からのリスト提供を受けており、県内の小・中・高

等学校にリストを提供した。

- ・県保健医療局主催の「県がん対策部会」の事務局として県教育委員会から参加し、第4期愛知県がん対策推進計画における「学校におけるがん教育」の取組について進捗状況を説明し、検討を行っている。

(2) モデル校における取組 (一部記載)

実施校 実施日 【外部講師】	実施事項
扶桑町立山名小学校 10月21日 【医療関係者】	5年 学級活動「がんを通して、いのちの大切さについて考えよう」 誰でもなる可能性のある「がん」について、医療従事者である外部講師から話を聞くことで理解を深めるとともに、がんを身近なものとして捉え、生活習慣を見直すなど予防のために自分は何ができるか考える機会とした。
常滑市立三和小学校 11月7日 【医療関係者】	5・6年 学校保健委員会「がんについて知ろう」 外部講師より、がんの仕組みや特徴など話を聞くことで、がんについて正しく理解し、予防につながる生活習慣や早期発見の大切さを学ぶとともに、自分や家族などの健康を考える機会とした。
高浜市立高浜小学校 12月5日 【がん経験者】	6年 学級活動「がんを学ぼう～あなたと大切な人の命のために～」 「いのち」「健康」「生きる」をキーワードに、外部講師の経験談や思いを聞き、がんという病気について理解したり、生きることや家族や身近な人の大切さについて考えさせたりする機会とした。
豊田市立五ヶ丘小学校 12月9日 【がん経験者】	6年 総合的な学習の時間「がんとともに生きる 今、私にできることは」 がん経験者である外部講師から、がんの基礎知識や経験談を聞くことで理解を深めるとともに、今後行うがんに関する調べ学習の意欲付けや生き方を考える機会とした。
田原市立高松小学校 12月12日 【医療関係者】	5・6年 体育科「がんについて知ろう」 外部講師より、がんについての基礎知識や予防について、話を聴くことで、がんを身近なものとして捉え、今、自分に何ができるか考えさせることをねらった。がんと生活習慣は関係が深いことから、自らの生活習慣を振り返ったり、早期発見の大切さを学んだりする機会とした。
設楽町立田口小学校 設楽町立清嶺小学校 12月17日 【医療関係者】	5・6年 学級活動「がん教室～みんなで一緒にがんについて考えよう」 2校合同でがん教室を開催した。外部講師から話を聞くことで、児童がもつ怖いイメージのがんについての基礎知識を学び、生活習慣の見直しや、たばこを吸わないなどの予防、検診の大切さなどを学ぶ機会とした。
瀬戸市立にじの丘中学校 9月26日 【医療関係者】	2年 学校保健委員会「がんのことを知って命を守ろう」 「知りましょう」「実行しましょう」「伝えましょう」「考えましょう」の4つの授業展開により、外部講師からがんの話を聞くことで、がんについて正しく理解し、生活習慣の見直しやがん患者やその家族の気持ちなどを考えさせる機会とした。
安城市立安城西中学校 11月11日 【医療関係者及び がん経験者】	2年 総合的な学習の時間・道徳 「目指せ！ヘルシーライフ がんを知り、自らの生き方を考える」 保健体育科の授業で学んだがんについて、外部講師それぞれの立場から話を聞くことで、更に理解を深めることができた。また、外部講師による講話後、各学級で担任による振り返りを行ったことで、がんをより身近なものとして捉え、周りに支えてくれる人がいることを感じ、相談することの大切さを学ぶ機会とした。
愛知県立古知野高等学校 11月17日 【医療関係者】	1年 保健講話「がんについて学ぼう」 緩和ケアや共生について、医療現場の外部講師から話を聞くことで、がんは誰でもなる可能性があることや早期発見すれば治る確率が高いこと、がん患者との関わり方など、より生徒の理解を深めた。
愛知県立小牧高等学校 (定時制) 1月8日 【がん経験者】	全学年 総合的な探究の時間「私のがん体験」 がん共生社会の一員として、周囲のサポートや社会資源の活用について正しい知識を身に付けたり、生活習慣を振り返ったりすることをねらいとした。外部講師の話から、生活習慣の見直しや自分のこれからの生き方について考えさせた。

(3) その他

外部講師を派遣した地区の教職員研修（一部記載）

実施地区 実施日 【外部講師】	実施事項
県立学校部知多支 部養護教諭研究会 12月2日 【がん経験者の ご家族】	「春の香り～脳腫瘍との闘い 18歳で逝ってしまった最愛の娘へ～」から 学ぶ命の授業 学校保健活動の推進者である養護教諭が、映画化された春香さんの生き方を通じ て、脳腫瘍についての理解を深めるとともに、本人やその家族とどのように寄り添っ ていけばよいかや、生徒に命の大切さをどのように伝えていくとよいか、学校として 何ができるかなどを考える機会とした。

2. 事業の達成度について

(1) がん教育研修会

《成果》

- ・ 県保健医療局の協力を得て、医療機関やがん患者団体へ研修会を案内し、がん教育を実践している外部講師やがん教育に関心のある方々に参加していただくことができた。
- ・ 効果的な指導にするための外部講師との連携やカリキュラムマネジメント、そして指導上の配慮事項など、がん教育に取り組むにあたって必要な内容を網羅する形でお話していただいた。また、「がん教育授業計画設計」を演習に取り入れたことで、外部講師を活用した授業のイメージを膨らませ、自校でやってみようと思意欲をもたせる機会となった。

(2) 外部講師派遣事業

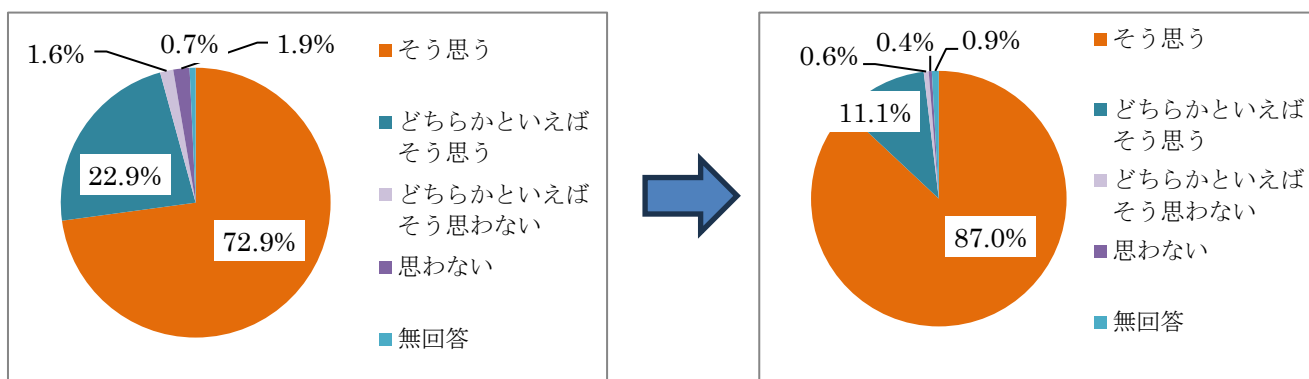
《成果》

- ・ 毎年、県保健医療局から「外部講師リスト」の提供を受けている。外部講師一人一人に、講師の講話可能な内容（がんの基礎知識、予防・検診、緩和ケア、理解・共生、生き方体験談、保護者向け）が記載されており、講師選定の参考となっている。
- ・ 令和6年6月からがん教育外部講師向けに、県教育委員会で作成した動画「学校におけるがん教育」を配信しており、視聴回数は約290回であった。
- ・ がん教育の前後に実施したアンケートによると、「がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ」の問いに「そう思う」と回答した児童生徒が約72.9%から約87.0%に増加した。また、「日頃から、バランスの良い食事や運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う」の問いに「そう思う」と回答した児童生徒が60.8%から73.1%に、「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」が53.8%から70.2%に増加した。
- ・ 児童生徒の授業後の感想には、「がんになっても、諦めずに夢に向かっていけるように人になりたい」や「がんだけでなく、困ったときは家族や友達、先生に相談したい」などの言葉があり、知識だけでなく、がんを自分事として考え、生き方を見つめる機会となった。

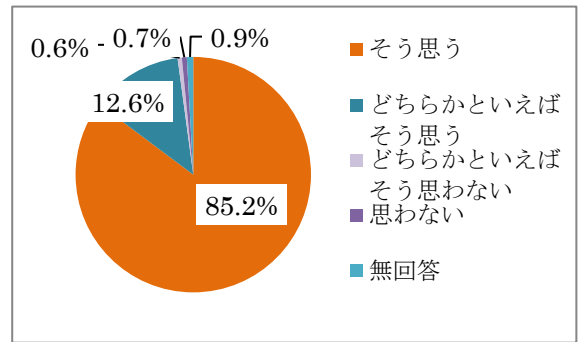
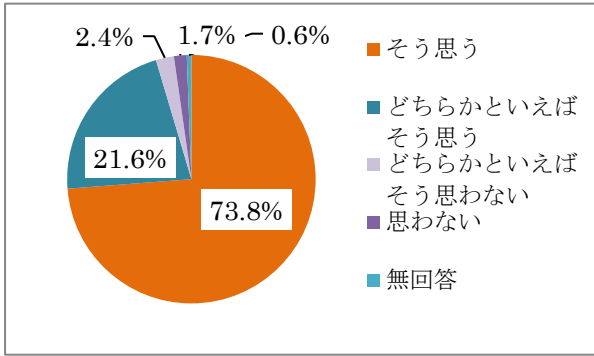
〈がん教育外部講師派遣事業 事前事後アンケート結果より〉外部講師派遣事業実施校



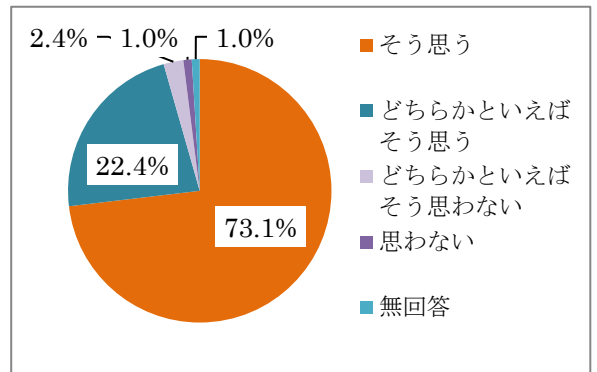
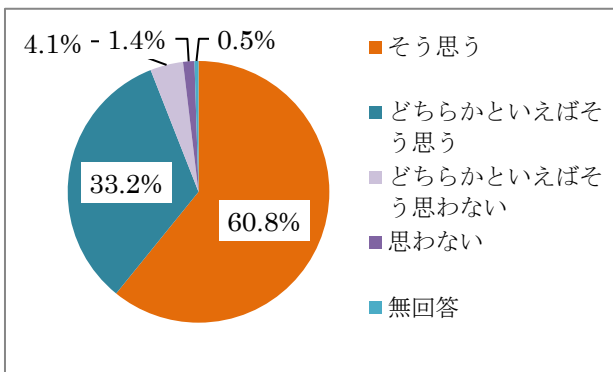
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ



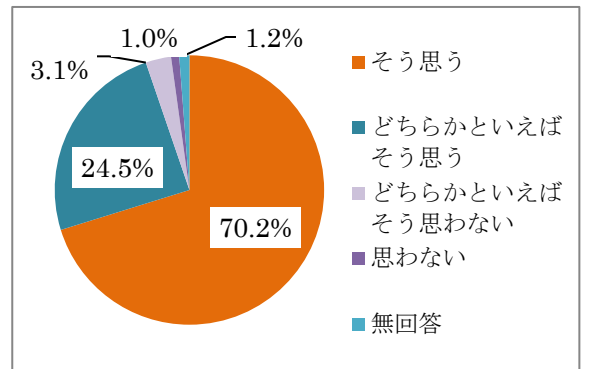
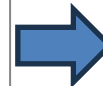
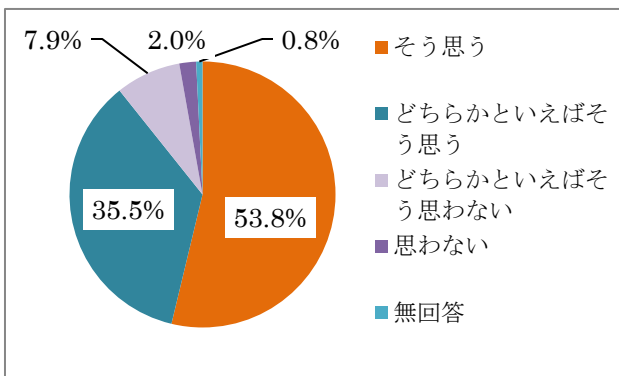
b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ



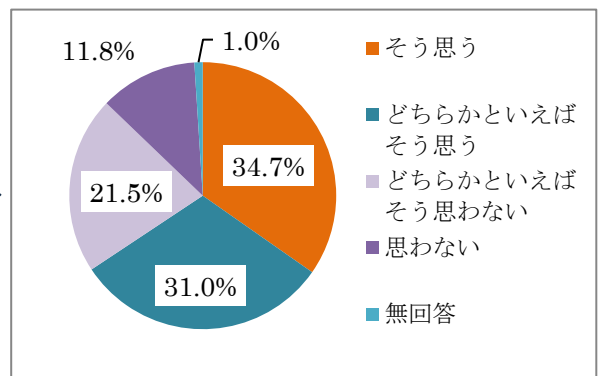
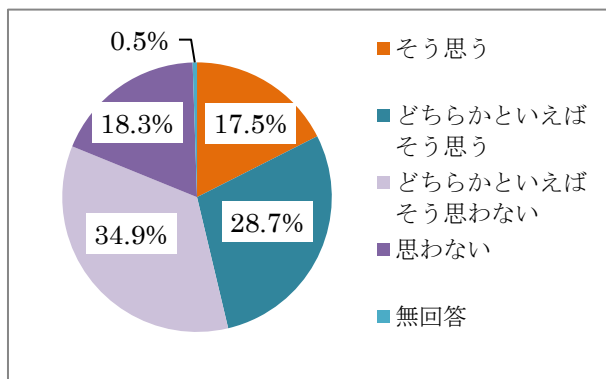
c 日頃から、バランスの良い食事や適度な運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う



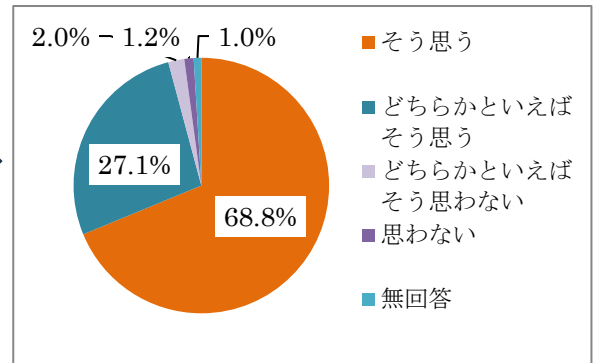
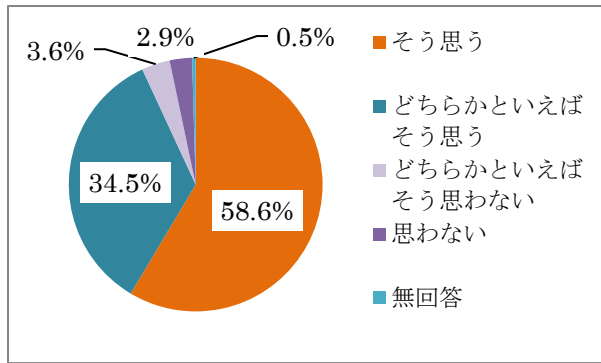
d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う



e がんになっても生活の質を高めることができる



f がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい



3. 今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題など）

(1) がん教育研修会

- ・昨年度より、既存の研修である「学校保健講座」の4つの講義・演習のうち、ひとつを「がん教育」と位置付けて開催しているため、見通しがもてるようになった。
- ・今後も、県保健医療局の協力を得て医療機関やがん経験者関係団体に研修会を案内し、外部講師の質の確保につながる研修を行っていく必要がある。

(2) 外部講師派遣事業

- ・事業を利用した学校からは「行ってよかった」という報告があるが、県全体としては外部講師を活用してのがん教育に取り組んでいる学校はまだ少ない。今後も研修等様々な機会を通して、実施校の成果を周知し、外部講師を活用したがん教育の推進が浸透していくよう図っていく必要がある。
- ・学校が希望する外部講師の派遣時期が12月に集中してしまい、講師との日程調整に苦慮する場面があった。今後も学校の要望を確認しながら、講師との日程調整を行っていきたい。